

GPAの活用状況

【大学】

・日本工大サポータル（ポータルサイト）は、保証人利用も可能となっており、各学期・通年の修得単位数とGPAを参照することができる。

・入学後の特待生の継続採用審査においては、GPAと修得単位数を基準に判定している。

・学内の学業奨励奨学金選考においては、累積GPAの値が高い者から選考している。

・早期卒業者の判定において、GPAと修得単位数を基準に判定している。

【基幹工学部、先進工学部、建築学部】

・在籍期間2年終了時のGPAが0.3未満の場合には、退学勧告を行っている。

・学修指導の基準として、次のように使用している。

- (1) 第1 Semester 終了時に、修得単位数が15単位未満又はGPAが1.0未満の場合
- (2) 第2 Semester 終了時に、修得単位数が30単位未満又はGPAが1.0未満の場合
- (3) 第3 Semester 終了時に、修得単位数が50単位未満又はGPAが1.0未満の場合
- (4) 第4 Semester 終了時に、修得単位数が70単位未満又はGPAが1.0未満の場合
- (5) 第5 Semester 終了時に、修得単位数が90単位未満又はGPAが1.0未満の場合
- (6) 前各号の修得単位数には教職に関する科目及び自由科目の単位数は含めない。